



事例No.49 GPSによる店舗検索を利用した地域消費喚起商品券事業

事業所名 企業名	鈴鹿商工会議所 公式ホームページ：http://www.scci.or.jp/				
所在地	鈴鹿市	従業員数	24名	産業分類	その他

【事例の詳細】

機能	商品券利用可能店舗の検索	使用 機器等	スマートフォン・タブレット・PC
取組 内容	<p>鈴鹿商工会議所では、2015年に実施した鈴鹿市プレミアム付商品券事業において、専用サイトを開発し運営しました。購入希望者には申し込み方法を複数設け、もちろんその中にはインターネットでの申込サイトも用意し、利用者の利便性向上には商品券利用可能店舗の検索サイトを運営するとともに、スマートフォンなどのGPS機能を利用した周辺利用可能店舗のMAP検索機能を設けました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>商品券利用可能店舗の検索サイトと店舗情報【http://suzuka-premium.jp/】</p>		
導入 プロセス	<p>2015年の国の地域消費喚起・生活支援型交付金を活用して、鈴鹿市でも地域消費喚起商品券（鈴鹿市プレミアム付商品券）の事業を行うことになりました。本事業は当鈴鹿商工会議所が行うことになったのですが、登録店舗の募集や購入希望者の個人情報管理、購入者の抽選、利用者の利便性向上など多くの課題がありました。</p> <p>これらの課題解決にICT技術を活用できないかと考えて、会議所会員でもある有限会社マイドソフトの森通人社長に相談したところ、専用のサイトによる運用を提案いただき、その開発運営を依頼しました。</p> <p>事業は、先行実施していた自治体の例をもとにその課題や問題、解決策などを徹底的に研究し、ICTを活用したデジタルな部分と、人の目や手によってしかできないふさわしい登録店舗の選定などのアナログの部分を組み合わせて、効率化と安全性を融合させて運営に当たりました。</p>		
成果 効果	<p>事前の研究を通じてICT活用とアナログ作業を組み合わせた結果、効率化と安全性を確保できました。またインターネット申込サイトからの購入希望が圧倒的に多く、予想を大きく上回る申し込みがありました。大部分の申込みデータをデジタルで得られたため、購入者の抽選（当選者の重複排除）や繰り上げ当選においても、膨大な個人情報を間違いなく処理でき、抽選に漏れた購入希望者からのクレーム処理に追われることもありませんでした。</p> <p>GPS機能を利用した周辺利用可能店舗のMAP検索機能で利用者の利便性が向上し、ほとんどの商品券が利用されました。</p>		

【取組みの狙い】

企業ブランドの強化	品質向上	従業員の成長サポート
独自性・独創性の創造・強化	付加価値の創造・強化	労働環境の改善
商圏・販売チャネル・新規顧客の拡大・開拓	生産・業務効率の向上	勤怠管理の効率化
顧客満足度の向上	生産・業務プロセスの改善	その他
価値・品質の見える化	情報管理の効率化	